

										著	發
										者信受	者信發
										9	月
										13	日
										20	時
										30	分
										軍	發
										參	於
										井	
										少	
										長	
										將	
朝參電第五六三號 米軍ノ使用ニ差出シ中ノ自動貨車二 〇車輛ノ使用狀況、任務終了豫定日 承リタシ											

0136

發	月	日	時	分	發	於
著	月	日	20	60	地	
受信者	京城連絡所				發信者	軍司令部
<p>朝考電第五六四號</p> <p>朝鮮特命第一號發令要旨</p> <p>一九月九月一六三〇前イ第三四軍團長ト間ニ北緯          三十八度以南朝鮮ニテ全日本陸軍部隊降伏ニ          對スル正式調印ヲ完了セリ</p> <p>二、各兵團(部隊)各各所管區司令スル外          アラジメ示セル所ニ其土中停戰處理ノ準備ヲ          續行スベシ</p> <p>三、各隊營團但任間ハ未嘗ト進駐ニ至ル間縱然          警備ヲ担任スルト共ニ治安維持ノ支援ヲ          任スベシ</p> <p>四、細部ニ關シテハ各隊長ヲシテ口達指示スル</p>						

0137





著者	宛	7月14日18時30分	發信地	發信者	發信者
受信者	天桃參謀		於	竹下少尉	竹下少尉
一 京城八高六ヤヨエ町陣地最低斜角 トレハイサキ除去 二 高十四号 南山集結セル筈 三 釜山連絡中ト共 判ラズ 二 三十八度以南 ガスノ貯藏ナシ 三 ガスガン 煙 毒ヲジウテニセル 彈藥ナシ 四 所毒夜神集積セルモノナシ 五 火砲放射器アリ 六 京城布衣ハワ一ニコ師團七三ニコ師團 三 軍直三 備計二一 六 特殊煙(ハウエントウ)アリ 七 永登補火藥庫(軍保有) 各部隊ノ所有物ハ資料ナキモノ不明 (原將校資料ヲ果テオケルカラ今日ハ調査 出来ヌ) 備考 電話ニル 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇					

米軍の報告

抄本

0140

著者	發者	發日	發時	發分	發地	發於
受信者	發信者	9月	10日	10時	20分	
受信者 荻井閣下		發信者 矢野龍巖				
日本銀行紙幣ハ朝鮮國內使用者甚多ト云フ 故ニ民間側ハ考ヘテ日本銀行券ハ一年間ヲ 通ジ朝鮮ニハニ千萬圓程度ナク最速内 地ニテ流通スル朝鮮券額日本銀行券 額ヲ超スル事多ク増加シテ其ノ人ハ朝鮮 銀行券トニテ交換シテ一般日本銀 行券ニ換下シテ内地人ハ朝鮮券ヲ 恐荒ラズシテ日本銀行券ヲ朝鮮 銀行券ト同物ニ觀内テ流通スル者 甚ク他テ宣傳セラシ度						
電 法						
長 官						
長 官						
長 官						

0141

發	月 日 時 分	發 於
著	月 日 時 分	發 於
著	若 井 閣 下	兵 器 部 長
著	東京三三自高車	新日田製鋼所
著	特設以下船十名	送致ニ年二
著	付事年ノ了解	ノ感テ甚ク
著	結果如何ニシテ	ヨリ
著	三三車通知下	度右作銀也
著	若 井 閣 下	兵 器 部 長
著	東京三三自高車	新日田製鋼所
著	特設以下船十名	送致ニ年二
著	付事年ノ了解	ノ感テ甚ク
著	結果如何ニシテ	ヨリ
著	三三車通知下	度右作銀也
著	若 井 閣 下	兵 器 部 長
著	東京三三自高車	新日田製鋼所
著	特設以下船十名	送致ニ年二
著	付事年ノ了解	ノ感テ甚ク

0142







後普急要待番

引合番號

報告印

2/25

軍用電報紙

送電先	送電所	送電機	送電機	通信時刻	通信手	通信内容	通電時間	送電機	送電機	送電機	送電機
三					五	五					
三					五	森					
三					五	網部					
三					五	前					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					
三					五	行					

宛名 高橋連絡班長

朝参電 第三二号

井上大佐 指揮之輸送隊 編成左如左

軍司令 兼 司令部 將校二下 七名 三 通譯二

第五 隊 連 隊 司令部 將校一 下 七名 兵二

第十 隊 野 隊 輸 送 司令部 將校 指揮 五 小隊

京 隊 師 團 司令部 中 隊 (二五等) 第一 二〇 小隊

第一 小隊 (五〇名)

全 兵 方、將 校、下 級 兵 二五〇名

三、自 動 車 最 兼 用 車 一、自 動 車 二〇

四、行 動 計 画 一、五 日 朝 六 日 田 原 途 中 一 泊

五、木 原、水 原、看、一、泊、十七日

六、前、京 隊、看、予、定

七、網 部、八、水 原、日、連 絡、セ、レ、ム

八、森、下、佐、一、行、六、水 原、二、才、一、分、全、二、七、七

(軍用電報紙)

0144

發		月	日	時	分
著		月	日	時	分
發信地		宇城連絡部長宛			
受信者		年 參 澤 長			
於					
<p>朝久多電第六二一號</p> <p>一 武器引渡ノ爲メノ旬大器ノ集積地指示</p> <p>(禪里ヲ郡山)ニ變更更シ(有洲ヲサト)ニシテ</p> <p>リニテノ指示ニ變更方未定ニテ交渉相成度</p> <p>之等地方ニ既ニ集積済ニシテ今後帶ハ燃料</p> <p>及天候ト関係上現ニ集積中ノ地更變更</p> <p>至難ナルニ付了解ヲ和ラレタリ</p> <p>ニ携帶兵器ヲ通ジ十五パーセントトス(但シ物</p> <p>品監視中手簡隊ハ全數携帶セシメ)守</p> <p>備地引上ノ時一五パーセントトナル</p>					

0145

0146

著者	發信地
京都 連絡部長友	東京 津長
9月 1日 12時 05分	於
受信者	發信地

朝参電第六三三号

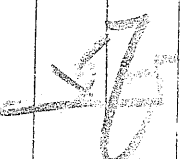
ステ第四号丁四項奉銃携帶  
禁止セリ

平

本件第一三三三三

号奉  
為  
附  
力  
院

作  
力  
院

著者	九月十六日	時	分
受信者	二時四五分	分	分
發信者	京城連絡部長官	發信地	於
受信者	軍參謀長	發信地	於
朝鮮參戰第一二五號 ステン第一二號 要求ノ乗用車ニ関シ 大田地區ニ於テ現在掌握シタルヲ軍司令部 司令部四輛ヲ合シニ朝鮮ニシテ一七日サシ アタリ六輛出發セシム。南鮮各地物ハ ナ未調査中ナリ。			
			
24A = 内 4元 手書 10月17日 手書 10月17日			

0147

副官 兵部 左 右

著者	發者	月	日	時	分
東京 陸軍省長官		9	17	16	15
發者	地信發				
家村参謀					

フヨウ電第一二六號家村参謀ヨリ  
 一 米軍釜山進軍後米軍前隊ヲ釜山灣ニ設置  
 二 前隊及舟入ノ輸送並埋等ニ付セシメタキ  
 三 米側ノ米若相成及埋地ニ付テモ之ヲ  
 又電達録頭(司令官前)ニ要中塞ヲ合同セリ  
 一 五〇名兵並三〇〇名傳車前司令官三〇名警備隊  
 一 四〇名武器兵收隊一〇〇名計七三〇名別ニ病院  
 一 檢査所ハ現在ノ通リトス 整官備兵力ハ右  
 二 言ニ別ニ書出可キ  
 一 米軍 連隊當日以降三三日埋積ヲ避ケル  
 夕々一九日埋ヨリ引上舟入ノ數並離送ヲ  
 中止スル如ク取計スレタク 船出入間余計  
 船積有ニハ在釜山雜務隊ヲ日比向離  
 送ノモシキ事付米軍連隊相成交ニ日  
 現任三官出陣司令官ハ一書三書ナリ  
 通電先軍司令官(五三〇カ)ニ電達録頭

0149

著	發
9月18日	10時00分
者信受	者信發
京城 連絡部長官	車參謀長
	地信發
	於

朝參電以第六四七號  
 金山引上日本人携行荷物(家具、フジ  
 炊事用具)約二〇〇〇ヶアリ未軍進駐  
 ニ支障アルニ付之ガ内地発送(連絡船ニ  
 依ル)ヲ認下取圖ラレタシ

長官

主任參謀

參謀

七

五

七

要由

三

18/9 部告ストヤ大佐ト会  
 18/9 已際連絡スル

18/9 19.00 受

0150

著信受	著	發
著信發	地信發	於
九月十八日	九月十八日	五時
二〇分	二〇分	
京城連絡部長官	軍	參謀長

朝鮮參電第六五六號

内地ヨリ朝鮮ニ引上グル朝鮮勞務者ガ日本銀行紙幣ヲ携行シタルニ朝鮮銀行ニモ郵便局ニテモ受付ボザルタメ無價價値トナリ勞務者困窮シアリ。

依ッテ内地港灣ニテ朝鮮銀行券ニ交換スルニト  
 ニ朝鮮内ニテ當分日本銀行ノ流通ヲシハルコ  
 トニ至急取計シラシ

長官 主任參謀 參謀

主計 長官

要申  
 16.10.10 文

0151

著者	發者	月	日	時	分
著	發	9	18	22	55
者信發	地信發	於			
者信發	地信發	於			

京城連絡部長官

京村參謀

筆記電話

緊急

釜要電第三三號

本十八日現在釜山滯留引上邦人八二万名ヲ突破  
 不狀況ニ付十九日以降別ニ連絡正途釜山向  
 輸送ハ中止セラレ度（本件釜山南原機庫  
 集合シ打合済ミ）ニ三日迄ハ滯留邦人負テ掃  
 レ混雜ヲ極力防止致シタク 内地ヨリ引上ノ  
 半島人ノ輸送ハ現在ノ所大ナル混乱ヲ生ジ  
 アラズ

通電先

軍司令官  
 五銃監  
 京城連絡部

部長

主任

參謀

京村參謀

緊急

五



0152

著者	發者	月	日	時	分
東京病院長		9	11	19	15
發者	地信發	於			
電信第十一聯隊長					

トリ電依頼電第四一九号  
 入院中ノ終技軍曹(ナスミカオ)  
 八月二五日附終技曹日長ニ連級セリ  
 本人ニモ傳達セウシ度

部長 主任 未集

軍區 司令部 庶務課

友

0153

著	九月十八日	時	分
發	十九時四十五分	分	分
者信受	京城連絡部	者信發	軍
	長官		參謀長
		地信發	於

濟洲島停戰処理指導ノ為參謀長  
 (參謀一副官一通譯一隨行)ハ二十三日濟洲  
 ニ至リ二十五日歸還致シタク米軍飛行機ノ  
 利用ニ関シ交渉セラレ度直離陸時刻等  
 ニ通報セラレ度。

(筆記電話田中軍曹交付)

司令官 主任 參謀  
 起等々  
 返

0154

者信受	著	發
京城連絡部長官	9月18日	9月18日
	16時	16時
	47分	12分

者信發	地信發
	於

朝參電第六八三號

ゴセントウウケンカキクンサンニ集結シツツ  
 アリタルヲ以テ未軍指示、裡里トアルヲ  
 クンサンニ更方至急了解ヲ求メラ  
 レタシ

尚一般ニ彈藥ハ指定地ニ集結スル  
 標ナキモフト解シアルモ念為タシカメ  
 ラレタシ

長官 主任 参謀 友

小岩井大尉

武蔵野  
 小岩井大尉  
 武蔵野  
 武蔵野

0155

者信受		著	發
京城連絡部長官		9月19日	18時40分
者信發		地信發	
軍參謀長		於	

朝參電第六〇〇号  
 サイシウ島海軍指揮官ハ海軍中佐  
 ハマ田セウイナナリ

米軍二連絡ノト  
 送  
 送  
 送

0156

者信受	著	發
京城連絡部長官	9月19日	9月19日
	19時	18時
	10分	20分
者信發	地信發	於
軍參謀長		

朝參電第六九四號

サイシラ島爆薬 彈藥類 海没及爆発處分  
 明ニロヨリ開始ニハ日完了ニ至定  
 ニサイシラ西飛行場滑走路長サ一八〇〇米  
 幅ニロ米及ビ長サ一八〇〇米幅三〇〇米  
 路面ケシコウナリ 使用ノ勤務員及燃料  
 (九一オクタンク) サレダシ  
 三、常用自動車サレダシ可能教調査中

山

道

サイシラ島連絡表

山 道

0157

著	九月二十日	八時	〇〇分
發			
者信受	京城連絡部長官	者信發	家村參謀
		地信發	於

ハ二二日未軍ノ一部ハ海路釜山ニ進駐ノ  
 予定

ニ釜山郊外地區在記陳舎ハ爾後軍  
 隊輸送ノ爲ノ宿舎トシテ日本軍ニ於テ  
 召集シ得ル如ク交渉相成度ク現地ニ於  
 テハカナル權限ヲ有セスト稱シ有リ

在記

モンゲン(五五〇〇名) 内限

セイメン(三〇〇〇名) 西面

アカサキ(一〇〇〇〇名)

フサンチン(二〇〇〇〇名)

カウコ内ハ收容能カオ示ス

釜山要塞司令官

クソク子大佐(連絡) 長

西

0158

著	發
9月20日	16時20分
著者	發者
京城連絡部長官	於筆記電話
發者	地信發
長多謀長	

朝参電第八一五号

九月十四日アノールド長官聲明趣旨  
 未ダ地方ニ徹底底シテアツザル處多ク大仰ノ  
 如キハ敬言察核構等ノ現在ノ敬言察官ニ  
 依ルモノニアツクニテ積極自治団体敬言察  
 カライフモノトシテ軍用自動車ヲ檢問スル  
 等依然暴動シアリ新聞等々徹底セ凡  
 地方又多ク我軍ノ説得ニ努メアルモ飛行  
 機其他ニ依リ見解正極曲ヲ矯正シ右  
 聲明ノ徹底スル如ク末筆ニ申入レラレ度シ

ふく

長官宛 主任

参謀

米三申ノ済

五

著者	9月20日 16時00分	受信者	京城連絡部長官
發信地	於	發信者	軍參謀長
<p>南參電第七九八号</p> <p>巡察官ニ對スル暴行並ニ兵器強奪ニ関スル件左ノ如ク未軍ニ通告セラレ度</p> <p>大邱市管区司令部巡察官カツマ少尉兵一名ヲ隨ヒ九月十八日二十四時頃大邱市村ノ所附近ヲ巡察中曹長カ飲食店ニ於テ飲酒中朝鮮人ニ軍力ヲ窺取セラレ之ヲ取戻サントシマアル旨ニ通行人ニ聽取セタリテ現場ニ至リ曹長ニ對シ現下軍人ノ立場ヲ訓戒セリ其尙朝鮮群衆約三十名ハ我方温順ナル態度ニ增長シ雷同興奮シ巡察官カツマ少尉軍力兵ヲ銃一銃制一及曹長カ一方強奪セリ我方積極行動ヲ控ヘ事件ノ擴大防止ヲ以テ我々トシ隱名自動車モ鮮人ニ此種行動取締ノ旨ニ未軍ノ調査自衛善處ヲ希望ス</p> <p>長官 申ノ</p> <p>29/9 16/15</p>			



著者	發者	發日	發時	發分	發地	發者
著	發	9月20日	11時	05分	於	家村參謀
<p>筆記電話</p> <p>通電先 大田上郎 京城</p> <p>多向出港ノ予定</p> <p>二本二十日十七時達仙丸一五〇〇名搭載博</p> <p>強刀指導相成度シ</p> <p>際釜山引上邦人ノ鉄道輸送ヲ中止スル如ク</p> <p>右アラシノタメ船泊ノ運行遅シキト徳壽</p> <p>丸故障達航ノ飛揚ニタタルトニヨルモ此ノ</p> <p>アリ本二十日滯留一三〇〇名</p> <p>一二十日三至ルモ引上邦人ノ鉄道輸送停止</p> <p>止セシズ釜山ハ達駐マシテ大混雜呈シ</p> <p>釜要電第一三二号</p>						
受信者	著	發	發日	發時	發分	發地
受	著	發	發日	發時	發分	發地
受	著	發	發日	發時	發分	發地

長官 主任 參謀

家村

20/9 16/15

0160

0161

者信受	著	發
京城連絡部長官	9月20日	16時15分
者信發	地信發	於
宗村参謀		筆記本片

フヨウ電第一三三号  
 フヨウ丸九徳寿丸連絡船外ニ復負  
 輸送ノ爲ト航スルニ隻ノ船泊入港セリ  
 取敢テ引上邦人ヲ輸送スル如ク處置  
 セシ毛軍隊輸送開始ニ関シ至急接洽  
 相度シ

来必置

長官 主任 (水) 参謀 (水)

増加船二隻ノ噸數 定員 三三三

右支那軍艦ヲ神島大島ノ内

20/9 16.15 受

0162

者信受	著	發
連絡部長友	9月29日	9時30分
者信發	地信發	於

朝依頼電第三号

釜山電第四三号

釜山ニ於ケル未軍進駐準備ハ友好裡ニ

着々進捗シヤリ、フヨウ司令部ハ三五日迄ニ

(キテウ)ハ轉移シ釜山連絡班ハ旧要塞

司令部内ニ移駐スル事定ナリ

釜山連絡班ハ通譯五名(特授命令)及

乗用車一ヲ配屬セラレタシ

大田ヨリ釜山ニ至ル

釜山電第四三号

釜山電第四三号

釜山電第四三号

釜山電第四三号